

## 評価結果概要表

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3870102922
法人名	有限会社ケアサ-ビスはまゆう
事業所名	グル-プホ-ムはまゆう堀江
所在地	愛媛県松山市福角町甲200番地1
自己評価作成日	平成21年12月1日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成22年12月14日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

利用者が、地域の中で、共に過ごし、学び 支え合う 関係を築き喜怒哀楽を共にし健康管理を行いながら、得意分野で力が発揮出来る地域で、常に共有でき 地域の方を先輩として学び 日常の中で支えられ協働作業をしたり、近隣での暮らしが楽しく交流できている。リビングは、吹き抜け構造で解放感あり、安全 安心 新鮮な自作の野菜で食卓を囲んで暖かい雰囲気、地域に恵まれた快適な環境下でのびのびとした自由な暮らしができ、地域に根ざしたアットホ-ムな暖かわが家です。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

クリスマス会や春のお花見、夏祭り等の事業所の行事の際は、地域の人達を招待されている。さらに、事業所は地域や老人会の行事に積極的に参加されており、地域の人達と一緒に会食をすることもある。又、その際に、カラオケでデュエットをされたり、一緒に盆踊りやフラダンス、マツケンサンバを踊られることもあり、楽しみながら交流をされている。事業所の畑の野菜作りは、地域の方の協力があり、教えていただきながら利用者も一緒に作業をされている。今夏は、スイカを100個以上収穫できたようで、夏祭りの参加者のお土産にされた。利用者は、老人会の役割で小学生の登下校時の見守りをされることもある。  
入居前に入眠剤を服用していた利用者もいたが、日中活動的に過ごせるよう支援して、主治医と相談し、入居後一か月ほどで入眠剤の必要がなくなった事例もある。

### ・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに 印	項目		取り組みの成果 該当する項目に 印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目：9,10,19)	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12)	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目：28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			



自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
<b>理念に基づく運営</b>				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価)	
			理念は、掲示されており、いつでも見られ、反復する事により、理念に沿った暮らしが出来るようにしている。皆で考え共に楽しみ喜び助け合い家庭的な中で自分が出来る事を自発的に発揮して頂いている。地域の畑で交流、公園 神社の清掃 公民館活動への参加等地域に根ざす生活をしている。	
			(外部評価)	
			事業所は、理念の一つに「地域との交流」を掲げ、開設当初から力を入れて取り組まれている。利用者全員が地区の老人会に入会されており、公民館活動や畑仕事等を通じて地域の人達と日常的に交流されている。又、事業所は「自発的活動の支援」を理念に掲げておられ、ご本人の「気付き」を大切に、個々が自発的に活動できる場面を作り、支援につなげておられる。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価)	
			老人会に全員入会し、様々な行事に参加している。菊花展では、入居者と職員が手伝い、お茶等の接待をした。地域内で畑を入居者と作業する中で助言や、協力して頂いたり、一緒にお茶をしたり、交流を深めている。平常と違う状態があれば心配して、電話して下さったりしている。疾病に対する相談等も受けたり、急患時に搬送したり、地域に根ざしている。	
			(外部評価)	
			クリスマス会や春のお花見、夏祭り等の事業所の行事の際は、地域の人達を招待されている。さらに、事業所は地域や老人会の行事に積極的に参加されており、地域の人達と一緒に会食をすることもある。又、その際に、カラオケでデュエットをされたり、一緒に盆踊りやフラダンス、マツケンサンバを踊られることもあり、楽しみながら交流をされている。事業所の畑の野菜作りは、地域の方の協力があり、教えていただきながら利用者も一緒に作業をされている。今夏は、スイカを100個以上収穫できたようで、夏祭りの参加者のお土産にされた。利用者は、老人会の役割で小学生の登下校時の見守りをされることもあり、又、地域の小学校の行事「おじいちゃん、おばあちゃんと遊ぼう」に利用者2名が参加して小学生と羽根つきをして楽しまれた。さらに「6年生と地域の皆さんありがとう」の会にも参加された。事業所は地域の方から、野菜や果物、菓等のおすそ分けをいただくことが多く、利用者が寄せ書きしてお礼状を出されている。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価)	
			入りやすい環境作りにより、相談や休憩等に来られ、入居者と触れ合う事や運営推進会議に地域の方に多く参加していただいて理解を深めてもらっている。交通事故にあった認知症の高齢者がおられ、地域の方が、転送してこられ、管理のもと、他施設や警察等の連携を図った。誕生日には、入居者の要望で自作物を出す等出席者には、喜ばれ共に楽しむ事ができた。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>運営推進会議を活かした取り組み                      運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>(自己評価)                      会議は、いつも和気あいあいと営まれ、家族 地域の方等も忌憚ない意見を出していただき、行事や日常生活への助言や協力が得られている。避難訓練は、地域の方の助言により参加して頂き避難 救助等にも受け入れ体制が図れた。</p> <p>(外部評価)                      会議は、市の担当者、地域包括支援センターと老人会会長、老人会や地域の役員の方、近所の方、ご家族や時には他のグループホームや老人施設の方にも参加していただき、又、ご家族2~4名と利用者も参加されている。会議では、利用者の現状や行事、取り組みを報告してご意見等をうかがったり、研修報告や外部評価の報告もされている。会議は、クリスマス会や避難訓練、お花見、夏祭りと一緒に開催し、ご家族が参加しやすいようにされ、参加者に利用者の様子を見ていただいたり交流できるようにされている。代表者は、日頃から会議の事を利用者にも説明されている。</p>	
5	4	<p>市町村との連携                      市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)                      運営推進会議や、行事に参加して頂き貴重なご意見を頂いたり、相談時には、柔軟な対応で適切に対処して頂いている。家族 地域の方からも気軽に身近で相談でき色々学ぶ機会が出来て良かったと好評である。</p> <p>(外部評価)                      運営推進会議では、地域包括支援センターの担当者にセンターの役割や活動を説明していただいたり、運営推進会議と春のお花見を重ね行われた際には、地域の方達の協力や交流の様子を見た市の担当者の方から「行政、地域、家族が一体で取り組みができて利用者は幸せですね」と感想をいただいた。</p>	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践                      代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)                      研修会を開き拘束の弊害拘束が拘束を招き抑制死に至ることを知り、代表者の方針でもあり、職員間でも話し合いながらしない為の基本的なケアを実践していくようにしている。</p> <p>(外部評価)                      日中は玄関に施錠はされていない。気ままに出て行かれる利用者には、職員と一緒に歩いて会話をしながら「出かける理由を探り」対応されている。現在は、気ままに出て行かれる利用者はおられないようだ。代表者は、言葉で「行動を制限する」ことも拘束になり、使わないように職員に話しておられる。入居前に入眠剤を服用していた利用者もいたが、日中活動的に過ごせるよう支援して、主治医と相談し、入居後一か月ほどで入眠剤の必要がなくなった事例もある。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 研修会を行い虐待とは何か 身体的なものだけでなく、精神的なものもある事や、気づかずにしている事がないように、お互い意見を交換しながら、ケアにあたっている。現在介護負担になるような、又虐待等の事案はなく、これからも、防止に努める。	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 外部研修に参加し、制度について理解し、家族会や運営推進会議等でも、話す機会を持っている。施設内にパンフレットも設置し、必要時いつでも相談に乗れるようにしている。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約に関する説明に、理解 納得されたか、確認して疑問や 不安がないように充分説明している。解約等についても相談しながら行っている。	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 毎朝入居者と職員が話し合う機会や、家族会 運営推進会議等で忌憚ない意見を出していただいております、運営や質の向上に活かしている。	
			(外部評価) 毎週来訪のあるご家族もあり、ご家族の「面会は多い」ようだ。ご家族の来訪時には、ご本人の状況を報告されたり、新人職員は、自らで自己紹介と挨拶をされている。県外に住むご家族には代表者が月に1回、写真付きのお手紙で様子を報告されている。行事や運営推進会議の参加も、面会時や葉書で案内をされている。家族会は、運営推進会議の開催前に随時行い、ご家族だけで話し合う時間も設けておられる。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<p>(自己評価)</p> <p>毎月のミーティングや毎日引継ぎの中で認知症フォーラムや介護技術 地域密着型サービス等の研修に参加し、意見を出し合い改善したり、問題等を解決している。運営方針 理念 利用者の受け入れや状況 日々のサービス等大事な決定に関して、職員の意見を反映させ、質の向上に努めている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>職員は、毎月のミーティングで個々の利用者のケアについて意見を出し合い、話し合われたり、勉強会をされている。</p>	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<p>(自己評価)</p> <p>職員個々の環境によって勤務形態等希望を取り入れ、事情等にも配慮し労働時間も考慮している。</p>	
13		職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<p>(自己評価)</p> <p>関連する研修資料を出来る限り収集し回覧し、外部研修に参加、それにより内部研修と繋げ技術の習得、質の向上を目指している。</p>	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<p>(自己評価)</p> <p>相互研修を機会に、ホ - ムの行事に招待して交流を深めている。研修時等他のホ - ムの活動等も得て質の向上に努めている。</p>	
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	<p>(自己評価)</p> <p>家族と共に施設見学して頂き、入居者の生活状況を見て頂いたり、入居者に聞いて頂き、実態を知って頂くようにしている。事前面談時利用者の生活状況や要望に傾聴して把握するように努め、利用者の不安や心身状態等受容できるような信頼関係に努めている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) 事前面談時家族の要望等に傾聴して、事業所として、対応できるサービスを柔軟性をもって家族の状況を把握しながら説明し信頼関係をつくっている。	
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 相談時、利用者 家族の思いや、状況を確認し、必要としている内容が、事業所で可能か柔軟な対応を行い、場合によっては、他の事業所のサービスを紹介したりしている。	
18		本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) 一緒に過ごす 学ぶ 支えあう関係づくりに努めている。人生の先輩であることを職員で共有して、常に利用者に教えてもらうように配慮して喜びや楽しみを共感し入居者の言動から学ぶことが多く信頼関係を築いている。	
19		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 利用者の様子や施設の状況等家族との情報交換を密に行い家族に傾聴して信頼関係を構築している。支援している一方的な関係でなく家族関係が築けるように、日々の暮らしの出来事等も面会時等に共有出来るように努めている。	
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 個々の状況を把握し馴染みを大切に、入居者が安心して生活出来るように配慮している。庭園で出来た花を毎日切って仏壇に活けられたり、友人と外出してお食事や買い物されたり、行きつけの理容店の方が送り迎えされて継続されており地域の方と野菜作ったりしてそれぞれが馴染みを活かしながら人間関係が保たれている。	
			(外部評価) 友人と食事したり洋服の買い物に出かける利用者がある。お墓参りを希望される利用者には、職員が同行されたり、ご家族が付き添ってお参りできるように支援されている。県外に住むご家族への連絡の際、ご本人が書いたご家族宛ての手紙を同封されることもある。行事時、利用者が以前利用していた施設の職員を招待して、現在の様子を見ていただいたこともある。又、元利用者のご家族が行事の度にフラダンスを披露しに、事業所に来てくださっている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 協働出来る事や、皆で話す機会を設け、他の人を理解し助け合い、自分で出来る事をされる事で職員が関るよりも良い関係が生まれたり、和気あいあいとし、ありがとうと感謝されたり、労らったり役割活動を通じて入居者同士の関係が円滑になるように努めている。	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 入院による契約終了時には、職員 利用者と共に御見舞いに行ったり、疾病等の相談に来られたり 頻回に病院に面会している。利用後も遊びに来てもらったり、利用者と一緒に自作した者を持って訪問している。めだかの子供が生まれたと持って来て頂いたり、帰省時には、お土産届けて頂き継続的な付き合いが出来ている。	
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 朝の話し合いの場や、アンケート 暮らしの中での会話 行動 表情等から汲み取り真意を推し測ったり、それとなく確認し、意思疎通が困難な方には、ご家族や関係者から情報を得るようにして把握している。 (外部評価) 事業所では、利用者に定期的にアンケートをとり、希望や意向の把握に努めておられる。食事では「量は足りていますか。満腹ですか」等、又、外食の希望についても質問されたり、入浴や外出、行事の際は内容やメニューもアンケートの結果を反映させて利用者の意向に沿う支援ができるよう努めておられる。職員は、毎日の介護記録に利用者の言葉を多く書き留めておられ、日々のケアや介護計画に反映されている。	利用者個々から得た情報をさらに分析して、利用者個々の思いや意向を探る取り組みをすすめ、支援をさらに拡げていかれてはどうだろうか。
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 本人や家族から入居時や毎日の生活の中で、生活歴や暮らし方を徴集しホームでの生活が継続して送れるようにしている。	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 毎日の生活でその日の状態を観察し、個々の生活のリズムを把握する。体調 天候 一人ひとり出来る事を見つけ、役割や、生き甲斐に結びつけられる様に柔軟に取り組んでいる。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価) 入居者と毎日話し合いする場を設け、家族面会時や家族会等で、意見や希望を聞き、反映している。アセスメントを全員で意見交換し、モニタリング、カンファレンスを行い課題を職員で話し、介護計画の作成に活かしている。</p> <p>(外部評価) 介護計画は毎月のミーティング時に職員で話し合い、ケアマネージャーが作成されている。ケアマネージャーは「本人の持っている力を活かす」とことと「本人の思い」を大切に計画を作成されている。「自分の出来る事で役に立ちたい」という思いを持っておられる利用者は、支援内容の一つに「地域の方と一緒に畑作業をする」ことを挙げておられ「地域住民」にも支援に協力してもらえよう、計画を立てておられた。毎月、モニタリングを行い、半年毎に見直しをされている。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価) 個々の日々記録に毎日記録し、出勤時には、目を通し情報を共有している。介護への工夫や環境等の改善をしながら可能性を探り、目標が達成できているか、職員間で意見交換しながら見直ししている。</p>	
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) お墓参り 通院 入退院時への支援、外出の促進を行っている。家族の状況に応じて柔軟な支援に取り組み、退所後も継続して相談受けたり、行事参加されたり、立ち寄っていただいたりしている。地域の方や、馴染みの方 友人の訪問等受け易い様に働きかけ入居者との交流を深めている。</p>	
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価) 住みなれた地域で個々の出来る事を協働して、公園 神社のお掃除をしたり、回覧等している。お花見を、公園にて、地域の方と毎年行い、準備等も全てで行い個々の残存能力を発揮し楽しく過ごしている。</p>	

## 自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) かかりつけ医は家族 本人の意向を重視し、継続される方には、受診時必要に応じて情報提供している。常に適切な受診治療が受けられるように、かかりつけ医や希望する医療機関と連絡体制を図っている。通院時は、状況の変化時は、事前に必ず家族にその旨を説明して、希望に応じたり、家族の同行の受診をしたり、代行したりして密に家族と相談して同意を得ている。	
			(外部評価) かかりつけ医は、ご本人ご家族の希望に沿って支援されており、協力医療機関や希望の医療機関に受診する際には、代表者が同行して様子を伝えるようにされている。受診結果はご家族の面会時に話されたり、遠方のご家族には電話や手紙で報告されている。	
31		看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	(自己評価) 毎日バイタルチェックを行い、心身の状態、顔色や表情 排泄 行動等平常と異なる時は、看護職員に伝達報告し、情報を共有しながら必要に応じて医療機関と連絡体制を図っている。看護師が不在の場合介護職員の記録をもとに確実な連携が図れている。	
			(外部評価)	
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	(自己評価) 入院時疾病の状態に応じて職員・生活を共にしている入居者が入院先に面会し安心していただけるようにしている。可能な限り面会し状況に応じて医師と連携図りながら、早期退院出来るように情報交換している。	
			(外部評価)	
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価) 入居時及び面会時に希望を聞き方針を明確にしている。入居者にも重度化や終末期の希望を聞いている。初期の段階に本人の意向を踏まえて家族 医療機関 看護 介護職員が連携を図りながら、役割の中で再検討して、身体状況に応じた環境で状態の変化時は、柔軟な対応が出来るように共有し支援している。	
			(外部評価) 代表者は、契約時に「看取りに関する指針」に沿って、ご本人ご家族の希望があれば、事業所で看取り支援までできることを話してもらえ、現在、全てのご家族が終末期まで事業所で過ごすことを希望されているようだ。又、代表者が利用者にも意向を聞いておられ、利用者全員が「どこにも行きたくない、ここにいたい」と言われたようだ。これまでに1名の看取りを支援された事例があり、その際には医療機関と連携を図り、ご家族の協力も得て行われた。利用者の状態変化等をきっかけにして、その都度応急処置や対応についての勉強をされている。	

## 自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 急変時や事故発生時を想定して、看護師による指導や研修を行い全職員が周知出来るようにしている。ヒヤリハットや事故報告を提出し検討会議を行い再発防止に努めている。	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 運営推進会議にて、消防署立会いの上、地域の協力を得て、参加していただいた方と一緒に避難訓練を実施し、意見交換して、連絡網にて災害時には、地域の方が駆けつけられる協力体制が図れた。実際の時間等も実測して、確認したり、避難場所等も決めたり、職員は、マニュアルを反復し、発生時には、迅速に実行出来るように強化している。 (外部評価) 事業所は、春の運営推進会議時に消防署の協力のもと、夜間を想定した避難訓練が行われている。利用者、職員全員と地域の方6名、ご家族2名が参加された。避難が遅れた利用者を想定し、駆けつけた近所の方が利用者をおんぶして救助する訓練もされた。消防署の方から「燃えている中には、入らない、戻らない」、「消防車が到着したら、人員の報告・救助人の報告」、「初期消火は天井まで燃えていたらできない」等のアドバイス、又、同時に地震の際の避難方法もアドバイスをいただいた。訓練後の会議では地域の方から「ホームに駆け付けるまでの時間を計ってみること」等の意見も出され、事業所では、さらに具体的に地域の方達に協力していただけることを確認されたようである。職員、地域の方、ご家族等の災害時の緊急連絡網を作成されたり、事業所の廊下には、避難経路を示した図が貼られていた。事業所では来年1月頃にスプリングクレーの設置を予定されている。	
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 勉強会やミーティングの折に、職員の意識向上を図ると共に日々の関わりを職員で点検し、利用者の誇りやプライバシーを損ねない対応の徹底するように努めている。人前であからさまな介護 誘導の声掛け等さりげない声掛けや対応に配慮する。 (外部評価) 代表者は、日頃から職員に「利用者に配慮した対応」について話をされている。職員は、座っている利用者をトイレに誘導する際は、まず利用者に「ちょっと、こちらに来てもらえませんか」と声かけされてから、次の段階でトイレに誘う等、段階を追って誘ったり、職員はできるだけ利用者に「手を出し過ぎない」ケアを心がけ「自発的に活動」できるような支援に努めておられる。利用者個々の衣類には名前を記入して、ご自分の洗濯物は、ご自身でたたむように支援して、最後に職員が確認をされている。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 出来る事を一緒に行いながら、傾聴し、共感的な姿勢で接し、態度 表情 身振り 言動から、探り可能な限り一緒に考え事決定出来るようにしている	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 個々の体調に配慮しながら、本人の気持を尊重して、支援している。庭園で出来た花を毎日切って仏壇に活けたり、買い物や散歩畑作業等1人ひとりの状態や思いに見守りながら柔軟に対応する。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 個々の個性 希望 生活歴 等生活状態にあわせて支援をしたり、外出 行事等日頃からおしゃれ楽しませている。アクセサリ - を身につけたり、化粧したり、好みの服を選んで着用されたりして本人の好みや意向を發揮している。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 利用者と一緒に畑で作った野菜を採ってきて献立したり、調理して、食事を一日の大切な活動の一つとしている。入居者の気持や意思を優先して調理している。準備や片付け等も利用者と共に行ったり、音楽かけてテーブルを囲んで楽しく食事が出来るよう雰囲気づくりをしている。配膳 下膳は個々が生活リハビリの一つとして行っている。	
			(外部評価) 毎日の献立は、利用者と相談しながら畑で収穫した野菜や近所からいただいた野菜・果物をふんだんに使用して調理をされている。調査訪問日の昼の献立に、収穫した大根入りの散らし寿司と「調査員さんに食べさせて」と、前日、近所の方が持って来てくださった「ひょうたんかぼちゃ」で煮物を作っておられ、食事の際の話題になっていた。食事は、テーブル毎に自分で台所まで取りに行かれており、足元が不安定な利用者は、職員と一緒に箸を取りに行かれている様子が見られた。茶碗、汁茶碗、お湯のみ、箸は個々に専用の物を使用されており、食事量によって大きさも違っていた。職員は、サラダの野菜を「もう少し小さく切りましょうか」と個々に声をかけておられた。利用者は、職員と一緒に調理の下ごしらえや食器洗い、食器拭き等をされている。入居前は、食事量が少なかった利用者が、下ごしらえ等の調理に関わり、食がすすむようになった例がある。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 疾病の状態等に応じて個々の水分量や食事量 体重や活動をチェックしたり 日々記録し、職員が情報を共有出来るようにしている。定期的に医師と連携図り必要に応じて精査して バランスが調整できているか専門的にアドバイスももらっている。飲み込みが悪い方 食事が食べれない場合にも安易に人工的な栄養補給に頼らず全員で工夫して食が進むように温かいものを好まれる方等個々の要望に応じている。運動 食べるタイミング 介助の方法等食欲を促している。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 口腔の手入れの必要性を職員全員で理解し、口腔ケアの重要性をすべての職員がカンファレンス等にて理解し肺炎等の予防に努める。義歯の管理や手入れを確実にし、口腔内の清潔保持に努める。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) 排泄習慣を把握し、トイレ誘導にて排泄促している。尿意のない利用者にも時間を見計らって誘導する事により、気持ちよく排泄が出来る環境を提供する。サインを見逃さずにあからさまな誘導でなくさりげなく、自尊心を傷つけないように支援する。 (外部評価) 職員は、利用者個々の排泄パターンに沿って、トイレに誘導されており、日中は全員がトイレで排泄できるよう支援されている。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) 規則的な生活習慣 食物繊維の多い献立の工夫 適宜の運動水分の補給に気をつけて自然排便が出来るように取り組んでいる。散歩 個々の活動等身体を動かす機会を適度に行い、自然排便に努めている。排泄習慣の見直しも行い強化している。	
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) 利用者の脱衣 裸になる 恥じらい心 恐怖心 湯に入る等の負担感等に職員が理解し、重視する。入浴を拒む利用者に対して、言葉かけや、対応に工夫して安全 安心して入浴できる環境整備に努めている。 (外部評価) 入浴は個々の希望も聞き、週に2~3回入浴できるよう支援されている。現在「夜は早く休みたい」との理由から、利用者全員、昼間に入浴されている。入居後間もない頃は入浴を嫌がられる利用者も、職員との信頼関係ができると安心して入浴されるようだ。冬の間は、ご近所の方からいただいた柚子で柚子湯を楽しむことができ、長湯する利用者もおられるようだ。入浴時に着替えの準備をされる利用者も複数おられるが、同じ衣類が続く時には、職員が他の衣類を勧めるようにされている。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) 個々の生活習慣を把握して、不眠の原因解明し、睡眠や食事、薬剤のあり方等全体的に調整に努めている。日中の活動を促し、生活リズムを整える。個々の状態を見極め就寝に向けて安心して良眠出来るように居室の環境整備する。眠剤を服用しない工夫をしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 処方された薬の説明書を個別にファイルしていると共に、申し送りや記録欄に記入し、変更のあった場合でも、職員全員が、周知出来るようにし、状態や変化を観察して家族 医療機関と連携を図っている。服薬管理は、管理者 看護師が行い目的 副作用 用量等もその都度申し送っている。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 役割 楽しみ 活力を引き出す等の個々の残存能力が発揮出来るように、日々の過ごし方に工夫している。得意分野を活かせ、出来る事を頼み、感謝の言葉を伝えたり、経験や、知恵が発揮できる場面を提供している。行事等も相談しながら行ったり、畑や散歩 公園の掃除等 共同生活の中で地域の関わりが多く生き甲斐 楽しみながら生活されている。	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 生活の継続支援 気分転換やストレス解消 五感刺激の機会を屋内だけでなく短時間でも戸外に出る機会を提供している。大切な人 友人 地域との関係の継続 季節を肌で感じたり、散歩 外出等にて四季の花 野菜 果物を観賞したり、出来具合を評価したり、一人ひとり習慣や楽しみを持てるように支援している。 (外部評価) 利用者は、職員と一緒に日常的に敷地内の花壇や畑を見たり、近くの公園や事業所の畑に出かけておられる。利用者は、順番で代表者と一緒に食材の買い出しにも行かれており、買ったものを袋に入れたり、野菜売り場では、自分達の畑の野菜との比較をしてみることも楽しみの一つになっている。春のお花見の際は、利用者の送迎を地域の方に協力していただいた。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 食品の買い物と一緒に出かけたり、希望者が必要な物を購入したり、利用者同士で選択したり自家製の野菜と時価を比べて驚いたり、レジで精算したり、袋に詰めたり楽しんでいる。金銭感覚のない方には、お金の大切さや、将来に向けての計画等を話し大切さを知ってもらったりしている。家族に随時報告を欠かさないようにしている。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 携帯電話で自由にかけておられる。行政にかけたり、地域 友人 農協等必要に応じて使用されている。室内電話は、必要に応じて個別に出来るように子機を使用して個々が自由に使用できる場所を提供している。地域 友人 家族等必要に応じて全員で寄せ書き等礼状や年賀状も出して交流している。何よりも状況が分かって良いと評価も頂いている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>利用者が過ごす共用空間は、吹き抜け構造で明るく開放感あり、換気良く、室内には、観葉植物等季節の花や物が設置しており精神的に落ち着いた雰囲気の中で、キッチン リビングは続き間で五感の刺激等にも考慮している。天窓から光がさし、キッチンから音臭い等冬期には、コタツで囲らん四季に応じて配置等模様替えを利用者と一緒アイデアを出して居心地良く生活出来るように全員で環境整備に努めている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>玄関を入ると、シクラメンの鉢が並んで飾られていた。調査訪問日、居間には、利用者と一緒に飾り付けた背丈程のクリスマスツリーが二つ置かれてあり、利用者は「雪は私が置いたのよ」と話してくださった。夕方になると、ツリーの電飾のスイッチを入れてくれる利用者がある。居間の壁面には行事や日常の様子の写真が飾っており、吹き抜けの高い壁面にもサンタクロースが飾られていた。窓際に沿って、ソファが置かれてあり、昼食後に腰掛けてテレビを見て、くつろいでおられる利用者が見られた。居間に続いてある畳の間には、マッサージ機が置いてあり、時には、近所の方も使用されるそうだ。</p>	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>玄関先には、ベンチがあり、菜園を眺めて、花や野菜を觀賞したり、成長を楽しみ、リビングには、ソファ-を設置して利用者同士でくつろげるように配慮し、季節に応じて畳みの部屋には、ごろ寝したり、コタツで囲らん出来自由に共有空間で利用者同士の関係等にも配慮した居場所の環境づくりに心がけている。</p>	
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>個々の環境が継続出来るように、使い慣れた馴染みの物や大切にされている物等を家族と相談しながら個別に応じた工夫に取り組んでいる。タンスや仏壇 使い慣れた小物 ソファ- テ-ブル等居室の模様替えも利用者と共に居心地良く安心して過ごせるように配慮している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>利用者が案内をして下さり、居室を見せていただいた際「この部屋は東と南側に窓があり、夜は星も見えます」と話してくださった。又、入居前ご本人が編み物で作った人形を出窓に並べておられる利用者も見られた。仏壇を持ち込まれている利用者も複数あり、事業所の庭の花を供えておられた。居室で新聞を読まれたり、お気に入りの化粧品で毎日お化粧をされている利用者もいる。誕生日に複数の利用者から贈られたお祝いメッセージを飾っていたり、孫の写真を飾っている利用者もおられた。ベッドの布団を日中は上げる利用者や、居室の掃除を職員と一緒にされる利用者もいる。</p>	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<p>(自己評価)</p> <p>利用者の状態に合わせて居住環境に配慮し、安全確保と自立自発的に活動が維持できるように、しやすいように配慮している。生活空間で転倒に繋がる原因がないか、花の水やり時に水のこぼれはないか等、常にチェックしている。</p>	